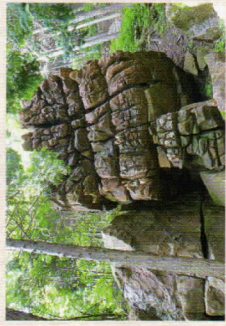


緑あふれる自然豊かな景色、 この地の文化を育んだ歴史の足跡



羅漢山奇岩群 (B-1)
美和町最高峰の羅漢山(1109m)頂上周辺に分布している蛇紋岩の群は独特の景観を見せてくれる。



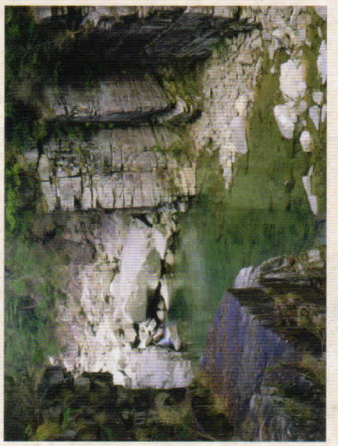
小瀬川ダム (E-4)
小瀬川の上流にこのダムは美和町内の3つのダムのうち最も古く(昭和39年)、最も高所にあり。



蛇喰磐 (E-5)
小瀬川本流と玖島川の合流地点で発達した罅穴現象。昔の人が大蛇によって喰いあけられた磐と考え、この名がつけられたとされている。



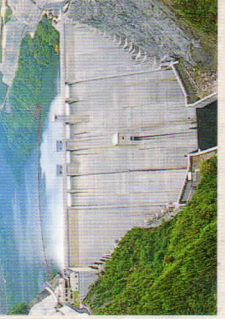
岸根栗原木林 (E-8)
屋島の戦いに敗れた平家の落人がこの地に定住し、上流の大栗林にあった大栗を焼き木で増やし、受け継がれたとされている。



名勝 弥栄峡 (F-6~7)
中生代白亜紀の花崗岩地帯が浸食作用で、奇岩・怪岩を造形し、山口県指定名勝となっている。ダムで多くは水没したが、亀岩、屏風の岩、鬼面岩などと、早期の風穴現象が多く見られる。



浄心広場 (F-7)
弥栄湖安徳義経が安置されている。弥栄湖遊歩道の起点。白滝山と飯谷山の景観を見ることが出来る。



生見川ダム (A-10)
昭和60年に貯水を始めた生見川ダムは、洪水、流水調節の他に発電を行っている。



妙見山展望台 (B-10)
妙見山(418m)は頂上まで車道があり、展望台からは生見川ダムを眼下に360度見渡せる。



山代白羽神楽 (C-5)
江戸時代中期から始まったといわれる、やましろ白羽神楽。24座で構成された出雲の流れをくむ安芸系神楽。特に「ヤマタノオロチ」は代表的な舞で、昭和39年東京オリンピック芸術部門にも出演した。町内に他に生見金山神楽、東谷神楽、釜ヶ原神楽がある。



弥山神社 (D-10)
本郡最南端の弥山、頂上まで車道があり、1月4日・14日は遠方からの参拝で賑わう。



自然石の罅穴 (C-7)
生見中村の県道そばの自然石に、大小数多くの穴が刺まった罅穴がある。江戸時代前期頭のものだと推察される。本町で四十数石発見の端緒となった。



こぶしの花 (E-5)
秋掛を中心に広く分布する。清澄な大輪の花が咲く。



川真珠貝 (E-5)
美帯系の二枚貝で、小瀬川は北半環における世界の生息範囲であった。昭和の半ばまでは多くの生息地があったが、現在は絶滅状態となっている。



オオサンショウウオ生息地 (D-9)
(C-3) (C-9) (D-9)
山地の清流に棲む。町内のあちこちで確認されているが、特に秋掛、長谷方面が多い。

大竹市